



温故知新



安全スローガン

まず確認 作業手順と危険予知 ルール守って無災害

本年度も無事に1年間無事故無災害で、安全大会を迎える事が出来ました。これもひとえに皆様方の御尽力の賜物と深く感謝いたします。

現在の建設業界において、人手不足による工程遅延、作業に不慣れな新規参入者の増加、過重労働による疲労・ストレスの蓄積という労働災害の発生要因が増えており、労働災害の多発が危惧されております。

これらについては日々のKY活動や現場ルールの遵守などで防げるものと考えます。作業員1人1人が責任と自覚を持って取り組むことで、無事故無災害が達成されます。日々の現場での意識を高く持ち、安全第一で作業に取り組みましょう！



指差呼称
足元よいか？足元よし！
野田工業(株)

【今号の主な内容】

- P① 安全スローガン
- P② 熱中症ゼロへ
- P③ 高所作業車
- P④ 情報セキュリティ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

建設業界の情報セキュリティ5大脅威

2017年建設業界で影響の大きかったセキュリティ上の脅威を、日建連「情報セキュリティ専門部会」で実際に発生した事故をベースに選出し、順位付けしました。

事故の原因は、本人の認識不足やルール違反と共に会社側の教育・指導不足があげられます。ひとたび事故が発生すると、施主の信用失墜や損害賠償などに繋がり、経営上の大きなリスクとなります。

順位	脅威	事例と解説
1	パソコン等の情報機器紛失・盗難	業務終了後、急遽酒席となり思わず泥酔してしまった。気が付くとパソコンが入った鞆ごと紛失していた。原則パソコンは持ち出さない。酒席となった場合は摂取量を控えるなど工夫ができるよう指導する。
2	ブログ等のSNSへの投稿による現場写真の漏えい	現場作業員が現場の写真を個人のブログに投稿し、施主側が投稿に気づいた。スマホ世代(若者)に投稿傾向がみられる。新規入場者教育など業務の初期段階でしっかり意識付けすることが有効。
3	図面等重要書類の紛失・盗難による情報漏えいと事故報告遅延	図面紛失後、施主へ事故報告がなされないうちに、警察から施主に遺失物届連絡が入り、事故が発覚した。社員または協力会社への教育・指導力不足を疑われるので事故発生時の対応については繰返し確認することが必要。
4	メール誤送信による図面データ等の漏えい	メールの誤送信には宛先のアドレス間違いと添付ファイルの間違いの2パターンがある。いずれもメールを送る前に宛先アドレス、添付ファイルの中身をしっかりと再確認することで回避可能。
5	標的型攻撃メールによるコンピュータウィルス(ランサムウェア※1)感染	パソコンまたはサーバ上のファイルが暗号化され読取不可となり業務が停止。バックアップが無いと大きな手戻りが発生する。不審なメールの添付ファイルもしくはメール内のリンクは絶対にクリックしないよう指導すると共に擬似的攻撃メールを使った訓練も有効。

※1 ランサムウェア パソコンやサーバ内にあるファイルを暗号化し閲覧できない状態にしたりするウイルス。元の状態に戻すために仮装通貨などを支払うように求めてくる。日本をはじめ世界的に被害が広がっている。

情報を守るための9つのポイント

ポイント1 工事に関する「情報」は絶対に口外しない >>>

- お客様、近隣住民、工事関係者の個人情報の取扱いに注意してください。
 - 個人情報の管理は、法律でも厳しく定められています。過失による個人情報の流出でも、会社だけでなく個人も罰せられる可能性があります。
- 工事に関する情報は、絶対に口外しないください。
- 次のような行為はもちろん禁止です。
 - 工事に関する情報を、インターネットのブログ(個人日記)や掲示板(2ちゃんねるなど)に書き込む。
 - 工事関係者や工事関連会社のリストを無断で持ち出す。
 - 建物内部や工事状況の写真を無断で撮る。



ポイント2 しっかりと保管しましょう >>>

- 図面、書類や外部記憶媒体(USBメモリ、CD、DVDなど)は、決められた場所に保管してください。
- 特に重要な情報が記録されたものは、鍵を掛けて保管してください。
 - 事務所荒らしによるパソコンの盗難が多発しています。事務所に防犯対策を施すことも大切です。



ポイント3 Winnyなどのファイル交換ソフトを入れない >>>

- 業務で使用するパソコンにファイル交換ソフトを絶対インストールしないでください。
- 代表的なファイル交換ソフトは、以下の通りです。
 - Winny(ウィニー)、Share(シェア)、Cabos(カボス)、LimeWire(ライムワイヤ)など



ポイント4 私物パソコンを業務に使わない >>>

- 私物のパソコンを業務に使用しないでください。
 - 私物パソコンは、ウイルスやスパイウェアなどで情報流出のリスクが高いです。
- 私物パソコンに業務データがある場合は直ちに削除してください。
- 業務に使用するパソコンを私的に利用したり、家族と共用したりしないでください。
 - 例: 家族が共用パソコンに Winny を導入し、ウイルスに感染したため情報が漏えいした。



ポイント5 ウィルス対策ソフトは必ずパソコンに入れます >>>

- パソコンには、ウイルスを検知・駆除するためのウイルス対策ソフトを必ず入れてください。
 - (パソコンショップで、数千円程度で市販されています)
- ウイルス対策ソフトは、常に最新の状態で更新してください。
- マイクロソフトのセキュリティ修正プログラムは適宜適用してください。



ポイント6 パソコンには、必ずパスワードを設定しましょう >>>

- 使用するパソコンには、必ずログインパスワードを設定してください。
 - パソコンや業務システムを利用する際に使う金庫の鍵のようなものです。万一の盗難や不正利用のリスクを最小限にしてくれます。
- パスワードは、他人に推測されにくいものにしてください。
- パスワードは他人に漏れないように管理してください。
 - (紙に書いて貼っておくことは厳禁です)



ポイント7 「情報」の持ち出しと持ち歩きには注意しましょう >>>

- 図面、書類やパソコン、外部記憶媒体を必要以上に職場から持ち出さないでください。
- パソコン、外部記憶媒体を持ち出す場合には、暗号化やパスワード設定など盗難・紛失時のリスク回避策を行ってください。
- 職場の外では肌身離さないよう注意してください。電車、車の網棚に置いたり、車中に放置したりしてはいけません。
- 持ち出し時には、目的地まで直行してください。
 - プライベートな用件などの寄り道は気の緩みが生じ、事故のもととなります。



ポイント8 コピー、FAX、郵送、メールの使用は最小限にとどめ、誤配に注意しましょう >>>

- 関係者に渡す「情報」は最小限にとどめてください。
- 郵送、FAX、電子メールなどで「情報」を送信する際には、宛先や送付する書類に間違いがないよう確認してください。
- 重要な情報を電子メールで送信するのは控えてください。
 - やむを得ず送信する場合は、必ず暗号化をおこなうか、パスワードを設定してください。



ポイント9 「情報」は確実に返却・廃棄しましょう >>>

- 工事が完了したら、保管の必要な情報以外は全て返却または廃棄してください。
 - 廃棄する際は図面、書類やパソコンから情報が盗みだされることが無いよう、次の対策を実施しましょう。
- 図面、書類はシュレッダーにかける。
- CD、DVD等の外部記憶媒体はハサミで切断するなど、物理的に破壊する。
- パソコン内の不要なデータを削除する。(ごみ箱からも必ず削除する)



万が一にも、情報漏えい事故が発生した場合、また情報漏えい事故の恐れがあると判断した場合には、自社の上司または担当者に報告してください。報告を受けた会社は、元請会社などの関係先に連絡していただきます。

もしも「情報」が漏えいしてしまったら...

垂直式高所作業車挟まれ・転倒防止のための安全方策

去る4月某日、某現場において高所作業車転落災害の被害者の方が死亡する事故がありました。これに伴い、改めて高所作業車の使用ルールを確認し、再発防止に努めましょう！

- ① 据付は、**平坦堅固**な場所で行う。**地盤状況により敷板敷鉄板**で養生する。
(作業場所近くに段差がある場合はカラーコーンで明示すること。)
- ② **本体の運転操作**は、**移動方向を確認**の上操作する。
デッキ上には、高所作業車を載せてはいけない。
- ③ 作業床上で**作業中は、停止ボタンを押してロック**する。
- ④ **走行移動時は誘導員を定め**、誘導員の指示で移動すること。
- ⑤ **走行移動時は、作業台を最下部まで下げて**移動すること。
(走行規制装置解除禁止！)
- ⑥ **傾斜地では、傾斜地用高所作業車**を使用すること。
- ⑦ **作業車を水平にする為のかませ物**を絶対にしないこと。
(天秤になり、高所作業車が転倒！)

『誤操作注意！操作前に周囲の確認！！』

※出入口の手摺・中棧の設置確認



①段差・地盤状況の確認

③作業時はSTOPボタンを押す



⑥傾斜地では、傾斜地用高所作業車を使用



熱中症ゼロへ

熱中症とは



私たちの体は、皮膚の血流量を増やしたり、汗をだしたりして体温を調節していますが、外気が皮膚の温度を超えると放熱しにくくなり、また湿度が高いと汗の蒸発量が少なくなって体温が上昇します。こうして、高温の環境下で体が熱を放出できなくなってしまうのが「熱中症」です。重症化すると命の危険を伴います。

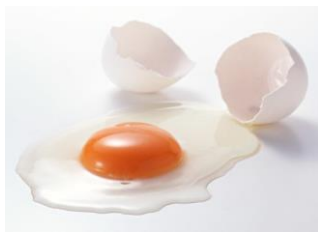
症状と重症度分類重症度



重症度	I 度	II 度	III 度
症状	全身の血液分布や塩分バランスに変化が生じる熱中症「入り口」状態 めまい・立ちくらみ・筋肉のこむら返り・拭いても拭いても汗が出る	重要な臓器への血液量が減り、臓器がSOSを出している状態 頭痛・気分の不快・吐き気嘔吐・倦怠感・虚脱感	体温調節機能が破綻をきたしている状態 意識不明・呼びかけに対し返事がおかしい・けいれん・まっすぐに歩けない・高体温

ゆで卵は元に戻らない

体温が42度を超えると、からだの細胞(タンパク質)が壊れます。脳では神経細胞、心臓の筋肉の壊死、腎不全、肝不全を起こします。壊れたタンパク質は元の状態には戻らないため、ゆで卵が生卵に戻らないのと同じで、熱中症は怖い病気です。



熱中症の応急処置

- ・ベルトをゆるめて横になる⇒**血流を良くする**
- ・首すじ・脇の下・足のつけ根を冷やす
⇒体表の**太い血管を冷やして**血液の温度を下げる
- ・OS-1(経口補水液)を十分に飲ませる
⇒**発汗で体温調節**ができるようにする



手遅れになる前に病院へ！！



熱中症ゼロへ®